

ドリル1: Satoshi, you look like you had a long day. Are you tired?

見本例1

Yes, I had a very long day.

I just came out of a meeting with a supplier. There were lots of problems, and the meeting went on for three hours!

うん、大変な一日だったよ。たった今、業者さんとの会議が終わったんだ。いろいろ難問だらけでね、3時間もやってたんだよ。

to have a long day 疲れる一日

慣用表現 直訳的には「長い一日」で、そこから「いつまでも終わらないような気分のする一日 疲れる、飽き飽きする、くたくたになるような一日」を言うときによく使われる表現です。

to come out of... ~から出てくる

慣用表現 「~から出てくる」という意味の表現ですが、物理的にどこかの場所や建物から出てくるという意味だけでなく、「(何かが終わって)ある状態から出てくる」という意味でも、いろいろなコンテキストでよく使われます。

to come out of a recession (経済が)景気後退を抜け出す

to come out of a very tough time in one's life 人生でつらい時期を乗り越える

to go on ずっと続く

慣用表現 副詞の on は、「どんどん、ずっと」というニュアンスを加えますので、これで「どんどん、ずっと続く」という意味になります。「何かが延々と続いた」というときに、アメリカ人はよく、'It went on and on and on...' と言ったりします。

見本例2

I guess I am.

It's funny but I think the jet lag is finally getting to me.

そうみたいだなあ。おかしなもので、時差(ぼけ)が今頃になってでてきたみたいですよ。

I guess ... ~と思う、きっと~だと思う

慣用表現 非常に口語的な表現ですが、よく使われます。

It's funny but... 妙なことだけども、おかしなことにも

慣用表現 これも大変、口語的な表現です。これも「脱線」の挿入で、but で戻る流れのミニチュア版ですね。

to get to ... 追いつく、捕らえる

やまと言葉 もともとの意味は「追いつく、捕らえる」ですが、物理的な意味だけでなく、非常に広く使われます。通常、「避けようとしていたものから、結局、影響を受ける状態になってしまう」というニュアンスで使われます。

The stress is finally getting to me. ついに、ストレスが溜まってまいってきた。

Don't let his rudeness get to you. 彼の失礼な態度、気にしないほうがいいですよ。

見本例3

You know, I am feeling kind of tired.

I hope I'm not coming down with something. I heard there's a cold going around.

そう言えば、確かにしんどいなあ。風邪じゃなきゃいいんだけど。どうも、鼻かぜが流行ってるらしいからなあ。

kind of なんというか

やまと言葉 非常に口語的です。直後にくる単語がぴったりとはこないときに、「なんとなく」「何ていうか」という感覚でつけます。

to come down with something (何かに)かかる

慣用表現 通常、a cold(風邪)、a flu(流感 influenza)と組み合わせて使います。

There's a cold going around. 風邪がはやっている。

慣用表現 「風邪がはやっている」というときの決まった言い方です。to go aroundは「廻る、行渡る」などの意味ですから、イメージがわかりますね。

見本例4

Oh, no. I'm just fine.

I just have a lot on my mind right now. I have too many things going on. But thank you for asking.

いやあ、大丈夫。ちょっと考え込んでいただけですよ。あまりにもいろいろなことが一度に起こってるものですから。でも、お気遣い、ありがとうございます。

just まさに

やまと言葉 justのニュアンスは非常に広くて、一言でつかみにくいですが、直後の単語を「まさにこれだ」「正確に言ってこれだ」と強調する感覚をコアととらえると、いろいろな意味合いが納得できるかもしれません。I am just fine. はfine(元気、大丈夫)を強調して「まったく、すっかり、ぜんぜん(大丈夫)」という感覚です。次の、I just have a lot on my mind. の方は、「to have a lot on my mind いろいろと考えることをかかえている」のhave(かかえている)を強調して、「正確に言って、「かかえている」という状況でそれ以上でも、それ以下でもない 単に「かかえている」だけ」という感覚です。

to have a lot on one's mind ちょっと考えこんでいる

慣用表現 直訳的には「頭にたくさんのかかえている」で、「いろいろ考えることがある」「気になっていることがある」といったニュアンスになります。

to have too many things going on あまりにもいろいろとあって、あまりにもバタバタとしていて

慣用表現 to have a lot of things going onで文字通りには「あまりにもいろいろなことが起こっている」という意味で、そこから「いろいろとあって」「ちょっとバタバタしていて」といったニュアンスです。ここはtoo manyになっているので、「あまりにも」というニュアンスがのっていますね。

But thank you for asking. でも、お気遣いありがとうございます。

慣用表現 例えば何かに誘ってくれたなど、相手の心遣いや申し出を断ったような場合に、相手に感謝して最後につける決まった表現です。ここでも、相手が心配して声をかけてくれたのに対して、心配自体は「大丈夫なので、心配無用」であったとしても、気遣ってくれたことについて感謝を示しています。